とかち新聞
主筆 松山明
(発行所)北海道足寄郡足寄町　とかち新聞社　電話2551番
毎旬5の日発行　1部50円1カ月150円　1カ年前納1,500円

高速道路をめぐり

本別と足寄の「お家の事情」

高速道路（北海道横断自動車道）は国土開発幹線自動車道に関する法律にもとづいてこの路線は

小樽～札幌～千歳～夕張～帯広～足寄～釧路

足寄～北見

となつていて、釧路と北見へは足寄で分岐することになつていましたが、九月七日になつて突然、道開発局から足寄町にたいして『分岐点は池田と本別の町境に変更し関係町村も諒承したので…』との申し入れがあつたのにたいして十四日の臨時町議会では諒承せず、『法律の別表に足寄があがつているので甘く考えていた、町長の政治責任をどうするか、分岐点がなければ高速道路は断るべきだ』との強硬論も出て、路線変更反対のまき返し運動をくりひろげ、二十六日の定例町議会では

小林町長　足寄で分岐するように十八日に帯広開発建設部、十九日に道開発局へ強く要請したが、七日に示した路線を固執している現在の予定線を審議会へ提出して基本計画から整備計画のつみあげに二、三年かかり、道路公団への工事命令にさらに二、三年かかるかなり期間があり、学園都市が出てくれれば無視するわけにはいかないとのことで分岐の要望について対応し配慮するとの意向だが、結論は併行線だつた

鷲足議員　学園都市の位置づけは年度内ときく、近く道議会で道費補正をするという、横断道路もこれによつて変るのでないか

小林町長　知事にはたらきかけ陳情を重ねていく

香川議員　新幹線も田中総理のひと声で決まつた、他町村を刺激してはーは生ぬるい、積極的にやらないのならやめた方がよい、インタチェンジがなければ協力する必要はないとの声もある

小林町長　阿寒は首相の発言もあつたので自信をもつてすすめてきた、首相も知事も一致しているので政治的に動かすしかない

などの論議がありました

本別自民党の力？

高速道路については、自民党本別支部の春の本年度定期大会において、政策審議のトップにかかげてその実現をはかることを決議していたもので、特に水元町長は農業に支障があるので考えないというがインタチェンジによつて町は発展するとして、太会決定によつて道や開発局にはたらきかけていたもので、分岐点が予定の足寄から本別に変更になつたのは支部の力だとしています。

変更路線の線引き

二十八日の本別町議会での一般質問で吉田副議長からの市街地国道バイパス問題の質問に関連して

水元町長　バイパスの前に高速道路の問題に関連するが、先般の議会の質問でも申しあげたが、相当の大きな資金をかけた農地で面積が足りなく苦しいところへ、平均六〇㍍巾を通られては困る、最終的にどうしても町を通らねばならないなら農地をさけてほしいと開発局へ申している、図面上の線引きは、とりあえず帯広～釧路間をやるため十勝へ入り新得、清水、音更池田の青山の沢から押帯の境いで町に入る、山手を通り勇足西一区の山手ラウンベ側の近くで分岐し、釧路ゆきはキロロの山手を通り本別～白糠線から釧路へ山のなかを通る構想で、キロロと北糖工場の中間にインタチェンジを設け、北見ゆきはオフイビラの山手から農業講習所、明美、月見台の山を通り足寄へ通ずる、インタチェンジは通過する町村に一カ所おくという、そのような線引きなのでできるだけ強い条件を出した私の土地でないので返事はできない、協力するには補償は充分でなければならない、来年度に予算を要求して調査するというが、高速道路は早くても五十一年ころで、それまで調査測量、用地買収にかかる

との説明がありました。

中央で再検討へ

○…水元町長としては従来からも農業を守るために〝招かざる高速道路〟だつただけに当惑の態で、どうしてもここでなければという国の計画であれば仕方なくせめて補償を充分にとのあきらめ方ですが、あきらめられないのは小林町長の方で、議会から〝奪われそうな分岐点〟に政治責任を問われるという事態にあつて〝既得権〟回復に一生県命で、対照的な両町の「お家の事情」。

○…本別町の面積は足寄町の三分の一もないところへ大巾の高速道路が二本も通り分岐点にインタチェンジに多くの農地をつぶされることは特産農業センターを設け全道唯一の農業大学校もおかれる道東における農業基地としては重大問題であり、足寄町としては釧路と北見へそれぞれ等距離の分岐点とした既定路線の変更は純技術的、経済的な理由か、あるいは政治的な理由によるものかクレームをつけたことから、問題は道開発局から中央の道開発庁にもち込まれて再検討の段階に入つています。

★一日に台湾を訪れた自民党のタカ派議員団は将経国首相にたいして『台湾との外交断絶を田中首相にやめさせることができず申しわけない』と深々と頭を下げたとのこと。

★郷土の中川一郎代議士もハリキツてこの訪台団に加わつているだけに問題。

★九月十五日の足寄での演説会でも中川代議士は『金大中は売国奴だ』として韓国朴軍事独裁政権ベッタリで『自衛隊は違憲の福島判決は正しい、この憲法からすれば…』だからこんな憲法はダメだという。

★天皇をないがしろにし子は親の面倒をみなくてもよい、こんな道徳のない教育も憲法のせいだという。

★かつての家長制度に戻して天皇制軍国主義警察国家の復活をめざしているような中川代議士にテレビのインタビューは『あなたのような政治家は消えてほしい』と手厳しいが、本人はテレもしないこと。

★たしかに戦前、戦中の制度、風習は国民を支配する側にとつてはまことに好都合だつた筈で、こんにちの保守政治家にとつての願望であるとしても、その気持があつても中川代議士のようにそうロコツにものがいえないだけのこと。

国のうちそと

中川代議士とは

★このところテレビや週刊誌に登場するようになつた中川代議士にたいするマスコミ側の興味は、自民党のなかでのイセイのいい青年将校といつたタイプで歴史の歯車に逆行しているような言動にあること。

西小は神社付近へ

足寄町議会

定例才三回の足寄町議会は九月二十六日午前十時にひらき（欠席は大久保、大野、大浦、斉藤昇議員）会期を二日間として、大滝議長の報告、森西代表監査委員の監査報告、吉田産業委員長の町外調査報告につづき、小林町長と前谷教育委員長代理の行政報告がありこのなかで

小林町長　しばらく休診していた国保病院の歯科再開について札幌医大から十月五日ごろに医師派遣の見通しがついたが、歯科から口空外科までとなる、農家負債整理対策がようやくでき、百五十億円は主として酪農で、道の資金百億円のワクをもち一般畑作農家に金利八、五％を五％にするため利子補給は道が一、五％、町が一％、農協が一％を負担し償還期限は三年すえおきの十カ年として、四十八年度に六割、四十九年度に四割ですすめられ、当町の負債額は四億五千七百十四万九千円となつている

小坂山の開発は七日に条件つきで契約をし三割の六千万円を受領し農振地区の解除手続き中で、境界測量に四十五日程度かかり十一月中旬となる、年内に起工式をあげたいというが明春と考える

前谷教育委員長代理　中足寄小と稲牛小は明年四月に中足寄へ統合し校舎用地は近く解決する、西小の建築について問題の用地は運動公園に支障のない状態で可能性を見出しつつある、ハッキリ報告できないが可能性を見出しつつある

佐々木議員　小坂山の起工式が年内にできなければ計画がズレるのではないか

小林町長　ズレを想定した契約で建設する

香川議員　中足寄の統合校舎の位置を変更するのはなぜか、狭いからか、場所と面積はどうか、西小の問題は理事者としても支障なく実施されるのか

小林町長　一応期成会の要請をふまえて作業をすすめ運動公園と両立して願意に添いたい

岡教育長　中足寄は国道の騒音で支障があり、グラウンドも狭隘で、環境整備のため別の候補地を折衝中で、一町五反程度となる

などの論議があつて一般質問に入り

久保田議員（都市計画関係について）

鷲足議員（観光地の環境整備について）

横田議員（大誉地小の整備について）

遠山、大浦、斉藤昇議員）して一般質問を続行

神本議員（国保病院の運営、財産処分、木彫民芸、消防行政、基幹産業について）

矢野議員（超過負担、幼児教育、自衛隊、白ろう病、土木行政、老人対策、教育振興）

などの質問があつて議案に入りました。

三委員とも再任

提出十四議案のうち四十七年度の上水道会計決算は建設委員会へ、病院会計決算は文教委員会へそれぞれ審査を付託したほかはいずれも原案どおりに決定しましたが、主な内寄は

一、監査委員に森西勝夫氏、教育委員に新妻幸雄氏公平委員に安久津義人氏をいずれも再任

二、六十五才以上の寝たきり老人、重度心身障害者母子家庭児童の医療無料化

三、旭町母と子の家、はたらくものの憩の家の条例を制定（暖房科の使用者負担は後日改正）

四、白糸開拓婦人ホームの条例追加（開拓の字句は地域と協議して検討）

五、一般会計予算の主な補正は

▲小坂山測量　三六〇万円
▲町開発期成会　三〇万円
▲北十勝線期成会二〇万円
▲寝たきり老人　八二万円
▲心身障害者　一八二万円
▲母子家庭児童一〇一万円
▲温泉駐車場　四五九万円
▲中島の沢補修一一五万円
▲上ラワン橋　二一〇万円
▲ラワン小整備　八一万円
▲足寄中整備　九五万円

などで、このあと一般質問で超過負担問題をとりあげた矢野議員が鳴海、大野両議員の賛成によつて政府にたいする要望決議を提案、これを全会一致で決議して午後三時五十五分に閉会しました。

鳴海議員（町財政、体育振興、開発について）

神本議員（自衛隊問題、教育行政、白ろう病対策について）

などの質問があつて午後五時に散会。

二日目の二十七日は午前九時に再開（欠席は大久保議員）

新柄婚礼衣裳
きものと帯は
㊀久保呉服店
足寄町　T二一四八

明るい　いこいの店
スナック　シャンブル
足寄町南一区　T　二四三九

霊きゅう車　葬儀仏具一式　花輪　生花
㊀自動車　新津はなや
足寄町西三区　T　二六二六

一五〇㌔高速ホイルバランサー　新鋭機
レッカー車　導入！
RM　アクリル　調色機
札幌陸運局認証　整備　板金　塗装
ムトウ自動車工業
ボンコツ車買い入れます　足寄町　T　二五七八

不動産についての御相談は
調査　売買　あつせん　管理　分譲
代行　登記　損害保険　代理まで
同和、興和火災保険代理店
北海道免許十26
足寄不動産事務所
足寄町本通り三丁目　T二三四五

家具と建材
信用は最大のサービス
技術と納期を誇る！
家具　建具　製造販売
住宅内装に新建材を！
佐藤家具建材店
足寄駅前　電話二二二一番

スチールチエンソー
最小型市販記念景品進呈売り出し
抜群の切断力と無震動を誇る
チエンソーの横綱！
スチールスパイダー
九馬力　一五五、〇〇〇円
スチールエレクト（ポイントなし）
七馬力　一四五、〇〇〇円
スチール八二型（最小型強馬力）
三、五馬力　八九、〇〇〇円
好評のスチールチエンソー西独製は今般最小型強馬力が市販となり各分野の職場に記念景品付売出し中、ゼヒこの機会に下命下さるよう願います。
有限会社　鈴木鋸刃物店
足寄町大通り　T　二三〇七